

農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 岳の棚田環境保全協議会

令和5年6月30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
佐賀県 有田町	平成29年度	(1)活動計画策定 (2)農山漁村における農林水産物の販売・加工	集客イベントにおける農産物・加工品の販売促進と、インターネットを利用した直販体制を構築し、並行して農産物・加工品の品質向上を目指す。

※ 事業名や主たる取組名を記載すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、農業体験や農家レストラン、花の植栽やライトアップにより棚田の魅力を発信して地域をPRする活動などの取組はおおむね実施できている。

・一方で、集客イベントが思うように開催できなかつたことで、交流人口及び売り上げの目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、可能な範囲で、交流人口の増加等に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。

・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化を図り、交流人口の増加に向けた活動や、農家レストランの運営等の各種活動を着実に実施されたい。

・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・集客イベントが思うように開催できなかつたことで、交流人口及び売り上げの目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化を図り、交流人口の増加に向けた活動や、農家レストランの運営等の各種活動を着実に実施。

3. 改善状況

・農家レストラン、農業体験は、継続して取組中であり、農家レストランは毎週1～2回、通年で営業し、地域住民等に定着している。

交流人口 ①: (週1.5回×(52週×80%))=62回×平均20名)≒1,250名

・農業体験は、リピーターを中心に子連れでの参加が増え、約20組が毎月のように体験農場に集まっている。

交流人口 ②: (20組/月×12か月×3名)≒720名

・集客イベントは、様々な団体が連携して実施しており、春の田植えとひまわり迷路による集客が各約500名、秋の棚田祭りによる集客が約500名あった。

交流人口 ③: 春の田植え500名+ひまわり迷路500名+秋の棚田祭り500名=1,500名

・農産物の加工品づくりやネット販売の取り組みは、中心となり進めるメンバーが不在となったため、規模を縮小して実施。

・なお、売上げは、新型コロナウイルス感染症の行動規制の緩和に伴い、令和4年度下期から、上記の取り組みが加速してきており、農家レストランでの売上げ及び集客イベント時の臨時の農産物直売所での売上げが、コロナ禍前の平成31年の合計売上げ額139万円を大きく上回る勢いである。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:宇久地域協議会

(一般社団法人宇久町観光協会)

令和 5年 6月 15日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
長崎県 佐世保市	令和2年度	(3)施設整備事業	宇久島は、築年数が経過している家屋が多いが、日本家屋として築50年以上すぎる古民家もあるため、宿泊者がストレスを感じることなく、第2の故郷に帰省していると思えるよう「エレガント」「ラグジュアリー」「ストレスフリー」をテーマに改修に取り組む。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

<p>【せっちゃん家】【森のガーデンハウス】【潮騒】【メアリーの家】【田辺邸】【松尾邸】【恵村邸】【宮崎邸】【民宿恵荘】</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の影響がある中、農泊ページの新設や島内での意見交換会の実施、パンフレットを作成し旅行会社への紹介など工夫して目的に即した取組が実施できている。・一方で、売上高など目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、農泊推進体制を強化し、可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。
--

2. 低調と評価された要因

<ul style="list-style-type: none">・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。
--

3. 目標達成に向けた方策

<ul style="list-style-type: none">・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。
--

4. 改善状況

<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の島内感染者が発生したことにより、高齢者と同居している施設やオーナー自身が感染への恐れがあることで、島内地域全体へ来島自粛が求められていた。・そのため、受入条件として、3回ワクチン接種証明または陰性証明持参としたが、受入実績は伸び悩んだ。・会員や関係施設への研修会等を実施し、モチベーション意地に繋げている。・事務局により誘客セールスを実施し、令和5年度は団体予約が見込まれる。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:合同会社TABERU

令和 5年 5月 ○日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
宮崎県 日向市	令和2年度	(3)施設整備事業	①体験と連動して消費者が満足できる農家民泊施設を整備する。 ②体験と宿泊、地域食が連携することで多様な組み合わせが可能になる。その中心組織を農家民泊内に作り、日向農泊型観光モデルを構築する。 ③合同会社TABERUが得意な地域農産物提供を活用して、消費者が満足できる「食」を農家民泊施設で提供する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

施設整備事業は令和4年3月に工事が完了し、開業している。今後は、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図りながら、地域の売上高や宿泊者数等の目標達成に向けて、継続的に活動する必要がある。
令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、実施体制の強化を図り、地域の売上高や宿泊者数等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。
今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

施設整備事

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

受入体制も整い、少しずつではあるが、利用者も増えて来ている。SNSを使ったPRなど今後も積極的に行い、新規、リピーターを確実に獲得したい。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:住まいるクオリティ株式会社

令和 5年 5月 26日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
福岡県 うきは市	令和2年度	(3)施設整備事業	宿泊機能及び農家レストラン機能が併設し、うきは産の食材等を活用した飲食サービスを行うことのできる施設として整備する。「ファームステイ型」の民泊において福岡都市圏や訪日外国人等の旅行者が、滞在型プログラムとセットでうきは市内に滞在することのできる拠点とする。うきは市内には、「きふね(レストランカフェ・農家民宿施設)」をはじめ、「PLATFORM UKIHA(コワーキングスペース・カフェバー)」等、古民家を活用した拠点整備が市内各所で進んでいる。それらの古民家活用施設等と連携し、地域全体としての受け皿づくりを行い、うきは市ならではの古民家ツーリズムを構築する。また、地域の遊休資産(空き家・古民家等)を活用しながら、うきは市の強みである都市圏からのアクセス性の高さや豊富な食・観光資源と働き方改革の一環としてテレワークとを組み合わせることで、滞在人口の増加につながるモデルにつなげる。(隣接するPLATFORMのコワーキング利用者の宿泊を担うことで、更なる受け皿拡大を図ることが可能である)

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

設整備事業を令和4年度へ繰越し、同年7月に工事が完了する予定であったものの、半導体が必要となる住宅設備等の入手困難が続き、工事完了が10月にずれ込む見込みとなっている。今後、工事が完了し、開業後は、目標値の向上に向けて実施体制を強化し、地道な活動を実施していく必要がある。

令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、実施体制の強化を図り、地域の売上高や宿泊者数等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び延べ宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

施設工事は10月に完了後、運営をスタートさせた。施設1(8部屋/8名)の宿泊者数は好調。部屋のレイアウトとベッドサイズ変更して最大人数子供含めて12名(大人10名+子ども2名)宿泊可能にし子ども連れの宿泊者への対応ができ実績値が目標値を上回ることができた。施設2(1部屋/8名)の宿泊者は一般客への需要がなく、修学旅行等の需要が少し出てきている。今後は実績値が目標値を下回った。現在これからの伸ばすため、需要のある個室を3部屋(8名収容)に増やす検討をしている。体験①は飲食部門のお蕎麦屋さん(きふね)の一般来客者数がアフターコロナで大きく戻り増えた為そば打ち体験の対応ができなく実績値0。体験②の果実収穫は目標値を大きく上回る成果。体験③も目標値を上回る成果。飲食施設客数はディナーのみで単価の高

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 筑後吉井農泊推進協議会
(株式会社sumugi)

令和 5年 5月 26日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
福岡県 うきは市	令和元年度	(1) 農泊推進事業 (2) 人材活用事業 (3) 施設整備事業	伝建地区に指定された歴史文化と風情ある在郷町・筑後吉井地区の古民家群を宿泊施設や店舗等として分散型・面的に開発することで、フルーツを中心とした特徴的な周辺農業地帯や農産物、歴史・自然・食等の地域の魅力を生かした滞在型観光を確立し、地域の新しい産業とすることで、地域の産業や雇用を生み、まちの営みを未来に繋げる。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

過年度に作成した映像を取り入れた宿泊施設のHPを開設、地域内外の事業者と連携したまち歩きガイドツアーの企画などを実施している。一方で、地域の売上高や宿泊者数は低迷していることから、今後は、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図りながら、目標達成のために継続的に取り組む必要がある。

施設整備事業は、令和2年度に工事が完了しているものの、令和3年度は新型コロナの影響等により開業は見送り、令和4年度開業に向けた準備期間としている。今後、売上高や宿泊者数の増加にむけて、実施体制を強化し、持続的な活動を実施していく必要がある。

今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

令和4年度7月に2棟5室の宿泊施設として開業し、年間平均約2割稼働で営業してきた。地域の売上高を上げる方策として、うきはの産品(飲食)6品を客室アメニティとして設置し、来訪者がうきはの産品やうきはの事業者を知るきっかけを作ることで購買促進につなげたり、夕食先や素泊りのお客様の朝食購入先として近隣の飲食店を紹介している。

合わせて、当館で用意する朝食は全14品あるが、それらをうきは産他近郊の市町村の食材を中心に使用することで、この地域の食資源・食文化の発信も行なっている。

また、宿泊者数増加に向けては、大手予約サイトでの販売やメディア掲載など、お客様の選択肢になるために目に触れる機会を増やすほか、日帰り観光の主要拠点となっている近隣の店舗にて施設パンフレットの設置を行っている。R5年2月以降、新型コロナが落ち着きを見せてからは、訪日外国人旅行者の宿泊も増加し、現在では毎月1/3程度が海外のお客様である。今後は国内だけでなく、訪日外国人旅行者の集客にも力を入れ、地域の売上高及び宿泊者数増加に向けて取り組んでいく。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:九州旅客鉄道株式会社

令和 5年 6月 29日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
佐賀県 鹿島市	令和2年度	(3)施設整備事業	今まで活用されていなかった重伝建地区の魅力ある古民家(空き家)を匠の技と最新設備・技術によって改修し、建物の古きよき風情を残しつつ、快適に過ごせる宿泊施設へ再生する。 宿泊施設の整備に留まらず、鹿島市ニューツーリズム推進協議会の構成 員と連携し、今までバラバラに提供されていた体験型コンテンツと宿泊を組み合わせることにより、鹿島市の魅力を一体的に提案し、今まで近隣の嬉野市や武雄市に流れていた宿泊客を鹿島市に留める。 鉄道ネットワークを活用することにより、九州はもとより全国各地から 鹿島市への送客を実現する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

施設整備事業の完了により、宿泊、食、体験コンテンツへの継続的な来訪と回遊を図るため、鉄道等を組み合わせた旅行商品を企画造成をすることとしているが、目標の達成状況が低調となっているため、今後は、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図りながら、売上高、宿泊者数の増加に向け継続的に活動していく必要がある。
今後は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、体制の強化を図り、地域の売上高、宿泊者数の増加に向けた活動を着実に実施されたい。
また、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

・全国旅行支援割の参画、メディアの露出、イールドマネジメント、多様な宿泊プランの造成等の施策を実施した。
・2022年10月より稼働率が上昇し、2022年10月～2023年5月の平均稼働率は56%であった。
・稼働率の上昇に伴い、売上も増加し、2023年4月及び5月は120万円/月程度となった。
・英語ホームページの公開、海外OTAでの販売、海外誌の取材等により、インバウンドの施設に対する認知度が向上し、宿泊が増加した。2023年5月には5組のインバウンドのお客さまの宿泊があった。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:上峰町農泊推進協議会
((一社)起立工商DMO、(有)大幸園)

令和 5年 6月 15日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
佐賀県 上峰町	令和元年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業 (3)施設整備事業	交通の要衝に位置する本町においては、周辺市町も含めた地域資源を活用した広域観光の拠点となり、自町に限らず広く周辺地域における、集客による経済波及効果の増大を目指す。増大するインバウンド需要のニーズやスタイルは多様化しているため、本事業の担い手となる人材を育成しながら各需要に対応した宿泊を伴う農村・農業体験観光商品企画の事業化を行い、滞在型観光地への転換を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・実施体制の強化や体験プログラムの充実、古民家の改修などを実施し、上峰観光協会の参画を得るなど、地元とのより強い連携を取るための体制の整備を進めているが、新型コロナウイルス感染の影響により、目標の達成状況が低調となった。引き続き、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図り、目標達成に向け、売上げ及び宿泊者数の実績を上げていく必要がある。

・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。

・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

いまだ改善は出来ていない。原因としてコロナ禍により人員が大幅に削減されていたこと、大幸園ならびに上峰町の魅力発信が不十分であったことがあげられる。

今後について、スタッフおよび外部人材の登用によりさらなるイメージづくりを図りたい。また、5年連続で大幸園にて将棋のタイトル「王将戦」の開催の誘致に成功しており、「将棋のまち上峰」のイメージを定着させ、近年急成長を遂げているふるさと納税のイメージとともに、全国から注目される町を目指したい。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:茂木まちホテルツーリズム推進協議会
(ここから長崎)

令和 5年 5月 30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
長崎県 長崎市	令和元年度	(3) 施設整備事業	中間組織として立ち上がった(株式会社ここから長崎)や茂木版の分散化した宿(アルベルゴ・ディフーズ)の第一拠点となるホテル(月と海)などと協力・連携して食メニュー提供や体験プログラムの提供実施体制を整えている。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・アルベルゴ・ディフーズの第一拠点となるホテル「月と海」などと協力、連携して食メニュー提供や体験プログラムの提供実施体制を整えた点は評価できるが、新型コロナウイルス感染の影響により、目標の達成状況が低調となった。引き続き、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図り、目標達成に向け、持続的な活動を継続していくことが必要である。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、地域の売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施されたい。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

事業実施体制強化として、プロの副業人材が多数所属する県外企業と協議会の会員でもある株式会社toitoitoyが共同で会社を設立して観光にとどまらず、地域のプレイヤー不足を解決するための動きを進めている。また、新型コロナウイルス感染症に対する旅行者の意識の変化などもあり、売上高及び宿泊者数が増加している。引き続き事業実施体制の強化を図りつつ、持続可能な活動を推進していくためのあり方を検討していく。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:さいかい自然体験ツーリズム協議会

令和 5年 5月 8日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
長崎県 西海市	令和元年度	(1) 農泊推進事業 (2) 人材活用事業	西海市にて実施している農林漁業体験民宿事業および体験型観光を、集客力と収益性のある持続可能な事業として展開していくことを目的とする。具体的には、市内の任意団体やNPO法人等の受け入れ窓口を一元化するための地域協議会を設立し、将来的には同協議会の法人化及び旅行業取得を目指し、事務局体制の強化、組織の再編、体験民宿の拡大及び内容の充実、広報・営業活動などを行う。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナの影響により、十分な活動ができなかったものの、新規民泊家庭の登録(3件)、体験プログラムの勉強会や修学旅行に特化したメニュー作りなど実施している、一方で、売上高や宿泊者数は低調となっており、今後、コロナ後を見据え、実施体制を強化し、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。

令和4年度は、評価委員会のコメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。

今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高等の増加に向けた、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

・令和5年度に入り、教育旅行・一般旅行共に受け入れが再開したため、宿泊客数・売上は改善してきている。今年度、民泊に関しては2,000名ほどの宿泊数を見込む。

・民泊の新規登録、拡大についても、R4年度末より再度力を入れて取り組み、月に2、3軒のペースで、新規登録家庭が増えている。

R5年度中に、60軒の民泊家庭登録を見込み(R4年度までで45軒)、それに伴い修学旅行受け入れの数も増やしていく＝売上改善を見込む。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:松合千軒協議会
(宇城市地域振興課)

令和 5年 6月 23日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 宇城市	令和元年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業 (3)施設整備事業	古代より続く地域資源や歴史的建築物を観光コンテンツとして磨き上げ、旅行者を宇城地域に誘客し、宿泊者や地域特産物の消費拡大を図り、雇用の創出及び所得向上を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、収益性の確保や継続した事業運営を目指し、農泊事業検討会の実施や、地域内でサービスを提供する人材を確保するための効果的な採用情報の発信等の取組はおおむね実施できている。
・一方で、地域の売上高の目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、計画見直しとなった施設整備事業の取り扱いも含めて、可能な範囲で、売上の増加等に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、施設整備事業の計画見直しに伴う事業実施体制の強化等を図り、地域の売上の増加に向けた各種活動を着実に実施されたい。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

令和4年度は、体験プログラムとして、柑橘の収穫体験を開始したことにより、少しずつではあるが、地域の売上増加に向け改善ができた。今後は、コロナで中止になっていた朝市の再開、夜市等の新たなイベントの計画もあり、より一層の集客が見込まれる。また、次年度の開業を目指し、天満屋の一部を飲食店として改修する予定があり、現時点においては地域内の宿泊事業者との連携を進め、地域の売上増加に向けた活動を着実に実施していきたい。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:魚貫崎の自然と文化を守り伝える会
(有限会社一五サービス)

令和 5年 6月 13日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 天草市	令和3年度	(3)施設整備事業	バリアフリー、インバウンド、長期滞在、コロナウイルス感染症へ対応可能にすることで、地域に経済効果を生み出し、コミュニティ・ビジネス化&ソーシャル・ビジネス化を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度へ繰越を行った。
・地域内の事業者が可能な範囲で参画し体験交流等の取組を行っているが新型コロナウイルス感染症の影響もあり売上高など目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、農泊推進体制を強化し、今後完成する宿泊施設とも連動して、可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

令和4年度については、上期は新型コロナウイルス感染症の影響が続いていたものの、各種規制が緩和された10月以降、来訪・交流も徐々し、目標については達成することが出来た。令和5年3月～の春シーズン以降は更に国内外からの来訪が活発になってきており、当協議会のある地域の繁忙期である夏シーズンに向けて、更なる来訪増も期待できると考えている。本事業で整備したフリーWi-fi、キャッシュレス決済、多言語表示、各種OTA掲載等をフルに活用しながら、引き続き当地域の活性化・交流人口増そして経済効果創出につなげていく。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:山都農泊協議会
(株式会社 山都でしか)

令和 5年 6月 23日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 山都町	令和元年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	有機農業で有名な山都町の特徴を活かして地域全体を「オーガニックライフをまるごと体験できる町」として農泊に取組、地域の活性化に繋げる。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、中でも、状況に適応したオンラインツアーの造成や、キャンピングカートライアルなど、推進可能な取組が実施できている。
・一方で、地域の売上高及び宿泊者数の目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、農泊推進体制を強化し、可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、地域の売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施されたい。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

コロナ渦の中なので予約サイトを使った個別予約は取らずに、団体やツアーなどの接種証明等を確認しやすい形のみで農泊を受け入れてきた。受け入れ人数も増え、宿泊ができるということでツアーによる山都町での滞在時間も長くなり、町としての経済効果も大きかった。受け入れ側としても、アフターコロナの宿泊増に向けたトライアルとしても良かった。今後はインバウンドも帰ってくると思われるので、受け入れ側としての多言語化やWi-Fi整備等を進めていきたい。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:多良木町農泊推進協議会
(一般社団法人クロスロード)

令和 5年 6月 28日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 多良木町	令和元年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業 (3)施設整備事業	「たらぎクロスロードホテル」構想の実現のため、町内の宿泊施設や飲食店の窓口を一本化し、農泊施設の受入体制機能を構築

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症及び豪雨被害の影響もあったが、その中でも、結婚披露パーティーの誘致や書道展の開催等、古民家活用施設を活用した取組などを工夫して実施できている。

・一方で、売上高及び延べ宿泊者数の目標の達成状況が低調となっているため、コロナ及び豪雨災害からの復旧後を見据えて、農泊推進体制、販促体制等を強化し、可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。

・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び延べ宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。

・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

・OTA (VacationSTAY) の活用により予約体制の強化を図り、さらにキーボックスの設置によりコロナ渦における非接触型の接客が可能な体制を構築した。

・令和4年8月よりレストランで昼は「甘味処コトノハ」、夜は創作フレンチ料理「trunquille」(とんきる)を新規オープンして地元野菜を使った料理を提供し、また令和5年4月より毎月第3日曜日に写経と朝食をセットにした「朝活」を開催、さらに令和5年5月より店内に地元在住工芸家の作品を展示販売し、集客の強化を図っている。

・インスタグラムでの情報発信や、人吉球磨観光地域づくり協議会の助成を受けて玄米朝食とフットバスをセットにした宿泊プランを開発、シヨップカードで情報発信している。

・令和4年12月頃から二桁の宿泊者数を確保し、令和5年5月にこれまでに最多の9組26人の宿泊者数となった。同6月には初めて海外(香港)の宿泊客を受け入れた。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:(一社)古民家再生協会宮崎

令和 5年 5月 30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
宮崎県 児湯郡 新富町	令和元年度	(3)施設整備事業	新富町の観光地としての認知度向上に向け、地域のステークホルダーが一丸となって、観光資源の発掘や既存資源の磨き上げ、地域の農産物を活用した食コンテンツの開発や資源を生かした体験プログラムの開発を行うにあたり今回応募の古民家を活用し、宿泊施設、体験施設として利用し交流人工の拡大→関係人工の構築→移住・定住促進を図っていくための施設とする事を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

施設整備事業は、令和2年8月に工事を完了しており、令和4年度に供用を開始している。新型コロナの影響により、令和3年度は地域の売上高や宿泊者数が低調となっており、今後、売上高や宿泊者数の増加にむけて、実施体制を強化し、持続的な活動を実施していく必要がある。
令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、実施体制の強化を図り、地域の売上高や宿泊者数等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。
今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

令和4年度がら本格的に宿泊事業が開始でき、月ごとに売り上げの波はあるものの、軌道に乗ってきた所です。(月最多14泊、最小2泊)コンスタントに収益をあげるため、地域住民、役場と連携して体験コンテンツの充実を図っています。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 八女福島農泊推進協議会
(株式会社NOTE八女)

令和 5年 6月 13日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
福岡県 八女市	令和元年度	(1) 農泊推進事業 (3) 施設整備事業	農業、伝統工芸、町並みなどを連携させてマネジメント、プロデュースする農泊推進組織(人材・運営体制)の確立や、一過性のものにならない魅力的な観光産業事業化による地域活力獲得を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルス感染の影響により、目標の達成状況が低調となった。そのような状況下も、地域の合意形成、農山漁村の魅力向上及びマーケティングの取組等、地域や関係団体と密に連携し協力してきたことで可能な限りコロナ禍の状況下でも事業の推進を実施した。引き続き、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図り、目標達成に向け、売上げ及び宿泊者数の実績を上げていくことが必要である。令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、地域の売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施されたい。今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

これまで、1室に対して1人の宿泊が目立っていましたが、宿泊者数及び客室単価を上げるため、1室あたりの宿泊者数の増加を取組みました。結果として、1室あたりの平均宿泊人数は2.2人にまで上昇し、宿泊者数及び売上げが改善しました。具体的な数字として、R4年度の平均稼働率は30%、延べ宿泊人数は682人、売上げが1,320万円となり、初期の目標宿泊者数及び売上げに近づくことができました。今後、コロナ禍緩和の好材料も追い風として、インバウンド回復による訪日外国人の積極的受入を含めて稼働のさらなる向上とともに本格的に一人当たりの客単価の向上を図っていきます。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:浮羽地区農推進協議会
(株式会社古家空家調査連絡会うきは)

令和 5年 6月 ○日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
福岡県 うきは市	令和元年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業 (3)施設整備事業	うきは駅前の御幸地区を基点とし、新川田籠伝統的建造物群保存地区に指定されている姫治地区へと観光客を誘引する事業を展開

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、その中でも、PRパンフレットの配布、HPの作成や宿泊及び直売所の竣工に合わせたイベントの開催など、推進可能な取組が実施できている。
・一方で、売上高など目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、農泊推進体制を強化し、可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

いまだにコロナの影響から完全に脱却したとは言えないが、PRパンフレットの配布、HPでの告知宣伝や併設する日本酒蔵元とのイベントの共催などにより、知名度は向上し、宿泊客や特産品の販売に関しても上昇傾向にある。特に、食堂利用客の増加が著しく、バスツアーなどの団体客の呼び込みにも成功している。現在は、月に一度、食事とお酒の提供をメインとしたイベントを企画実行しており、5月、6月のイベントでは、500名超の入場者があった。今後も、宿泊、食事、お酒と幅広い受け入れ態勢を保持し、ECサイトも活用した上で、コロナの流行などのイレギュラーの事態にも対処できる体制づくりに取り組む。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 美食の森たらぎジビエ協議会
(有限会社 村上精肉店)

令和 5年 6月 28日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 多良木町	令和元年度	(1) 農泊推進事業 (2) 人材活用事業 (3) 施設整備事業	ジビエをテーマとした体験プログラムと食が楽しめるレストラン併設型の宿泊施設を整備し、観光客の農山村地域内の交流人口の増加などのための持続的な仕組みを構築

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、その中でも、フィールド体験ツアーや大学生、高校生へのイノシシの解体加工処理の体験講習など、規模を縮小しながら工夫して取組が実施できている。
・一方で、売上高の目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、農泊推進体制、販促体制等を強化し、完成した宿泊施設とも連動して、可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、規模を縮小し、フィールドツアーの体験型を実施し、ジビエ肉を使ったピザとウインナー作りを実施することができた。
・販促体制を強化する為、肥後もっこすうまかもんグランプリに参加しジビエ商品で認定証を受賞し、メディアに取り上げられ多くの方に周知することができた。
・売上及び宿泊者数を増やすためテレビ取材や地元新聞や県内外からの視察等を受け入れ情報発信に務めた。

事業実施主体名:新宮町東部地区活性化推進協議会

令和5年5月31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要	取組概要
福岡県 新宮町	令和2年度	(1) 農泊推進事業 (2) 人材活用事業	・地元農産物等を使った高付加価値製品の開発・販売、地域食材を使ったメニュー開発による飲食店の活性化により、稼ぐ観光地づくりを目指す。 ・体験コンテンツを開発・磨き上げるとともに、古民家を改修し体験プログラムをつくり、通過型から滞在型観光地への転換を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、飲食店を含む地域の方々が出来ることを話し合い、協力して、来店者数(交流人口)目標値の約8割達成に繋げている点は評価できる。
・一方で、構成員である宿泊施設が休業により中途脱退し、現時点まで代替宿泊施設が未定のみであり、宿泊者数と売上げの目標達成が低調であることから、早急に宿泊者数及び売上げ目標達成に向けた体制の見直しと集客・収益力の強化に取り組む必要がある。

2. 低調と評価された要因

構成員の宿泊施設が休業により中途脱退し、その後代替宿泊施設が決まらず、宿泊者数と売上げの目標達成が低調となったため。

3. 目標達成に向けた方策

連携可能な代替宿泊施設を確保する等により、宿泊者数と売上げの目標達成に向けて、持続的な活動を着実に実施する。

4. 改善状況

・新宮町で唯一の宿泊施設を運営する三上農園では、農泊(バンガロー利用)施設が老朽化し宿泊利用が厳しいため、令和4年度からオートキャンプ形態に変えて実施中。1日1組限定の貸切ができるオートキャンプ場ではあるが、お客様の需要が高く好評で利用客も増加傾向に推移している。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:天城町農泊協議会

令和 5年 5月 31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
鹿児島県 天城町	令和2年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	衰退の一途である平土野集落は、かつては非常に賑わいのあった町の中心市街地であり、この地を中心として町全体の活性化を図るため、奄美大島・沖縄北部と合わせて世界自然遺産登録・観光客／インバウンドの増大という大きな流れに対して、提供し得る食事、飲食店、魅力的な体験プログラムといった、観光資源の磨き上げを行う。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新しい食メニューの開発や野生動物探しのモニターツアーの開催、協議会HPの開設など、計画した取組内容は概ね実施されている。一方で、地域の売上高や宿泊者についての達成状況が低調となっているため、今後、コロナ後を見据え、売上等の増加に向けた持続的な活動に取り組んでいく必要がある。

令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。

今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高等の増加に向けた、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

天城町の中心部の平土野商店街内に、中核法人である奄美イノベーション(株)がカフェ兼事務所を立ち上げ(R5.5月完成)。今後ここを拠点に農泊協議会で開発したメニューの販売や、体験プログラムの受け入れ窓口、宿泊施設のフロント機能や観光案内の機能を備え売上を確保しながら地域の活性化に向け取り組んでいく。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: 阿蘇地域農泊推進協議会
(公財)阿蘇グリーンストック)

令和 5年 5月 31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 南阿蘇村	令和3年度	(3) 施設整備事業	教育旅行中心の現在からビジネスとして農泊を実施するための現場体制構築を目指し、農家民泊の受け入れ家庭において、より魅力的な観光コンテンツを併せ持つ農家民泊への転換を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

<p>【民泊 畑曆】 ・計画通り年度内に施設整備事業を完了し、供用開始は令和4年度からとしている。 ・工事完了が年度末であったため、売り上げ及び宿泊者の実績が無かった。 ・今後、体制の強化を図り、目標達成に向け、持続的な活動を継続して実施していく必要がある。</p> <p>【体験民宿 なかむら牧場】 ・計画通り年度内に施設整備事業を完了し、供用開始は令和4年度からとしている。 ・工事完了が年度末であったため、売り上げ及び宿泊者が少なく目標達成ができなかった。 ・今後、体制の強化を図り、目標達成に向け、持続的な活動を継続して実施していく必要がある。 ・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施されたい。今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。</p>
--

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。
--

4. 改善状況

<p>【民泊 畑曆】 令和4年度は、整備した施設をグループでの滞在やワーケーション対応として1棟貸しとした。また、施設の質やロケーション、地域の特性等を伝えるホームページを整備した。1棟貸のため人泊数は少ないが、売上は目標の80%に迫っている。また、かまどご飯炊きなどの体験プログラムは目標値を達成した。</p> <p>【体験民宿 なかむら牧場】 令和4年度は、6月に改築整備部分を含む簡易宿所の営業許可を取得し営業を再開した。併せて施設のホームページを刷新して、自然の中でゆったりと過ごす体験型の民宿として新たな顧客の開拓を試みた。その結果、目標値を達成できた。</p>
--

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:特定非営利活動法人おちかアイランドツーリズム協会

令和 5年 5月 30日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
長崎県 小値賀町	令和2年度	(1) 農泊推進事業	当協会が運営している古民家ステイ及び事務局として運営している民泊、体験型観光の観光客を呼び込むツールとして活用し、現状のニーズに合わせた事業として取り組み内容の整理、PG開発を行い、滞在型観光の取り組みを推進しながら併せて地域活性化に向けた人材育成・雇用拡充を図ることを計画。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナの影響により、地域の売上高などの実績値は目標値には届かなかったものの、PR動画の作成や民泊受入に関するマニュアルの作成などを実施しており、コロナ後のインバウンド需要の回復を見越した取組は評価できる。今後は、コロナ後を見据えて、実施体制の強化を図り、地域の売上高の増加等に向けて、地道に活動に取り組んでいく必要がある。

令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向け、実施体制の強化を図りながら、活動を着実に実施されたい。

今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高等の増加に向けた、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

コロナが落ち着き始めたことにより、売上は増加し、令和4年度は売上高等の目標を達成した。小値賀町のファンづくりのために、宿泊データ分析システムとCRMアプリについて、詳細の取り組みについて話を伺った。先進地視察として気仙沼市に行き、協議会運営やDMO、CRM、地域経営の仕組みを学んできた。現在、小値賀町の総合計画策定中であり、観光振興計画の策定に向けて準備を進めている。また中間支援の専門家(ムラたび九州山口久臣氏)にお越しいただき、職員向けのワークショップを行っていただいた。地域の売上増のため、原点に立ち返り、小値賀の魅力、小値賀らしさの再認識、プログラムの再構築を行っている。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:南阿蘇名水ICHIGOネットワーク協議会

令和 5年 5月 1日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 阿蘇郡 南阿蘇村	令和2年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	南阿蘇村は県内有数の観光地であるが、日帰り客に比べて宿泊客が少ない典型的な通過型観光地であり、着地型観光地への進展を図るために、地域特産物であるイチゴを主軸に観光関連事業者がネットワークを展開し、研修会の開催・観光コンテンツの開発・人材育成・情報発信等に取り組む。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

特産のイチゴを基軸とした新たな料理や加工品等のブランディングへの取組を実施している。また、地元協力のもとICHIGOの日イベントを開催し、情報発信を行うなどの取組も行っているが、新型コロナウイルスの影響により、目標の達成状況が低調となっており、今後、農泊ビジネスに取り組む体制の強化を図りながら、目標達成のために継続的に取組む必要がある。

令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、実施体制の強化を図り、地域の売上高や宿泊者数等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高や宿泊者数等の増加に向けた、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

イベントについては、1/15日に道の駅あそ望の郷くぎので「いちごの日」イベントを行い、本事業で製作した8農園のいちご狩りMAPの配布と、8農園のいちごパックを販売した。1/30～2/7日は、菊陽町のTSUTAYABOOKSTOREにて、PRイベントを行った。協議会のいちごと、パン屋、サンドイッチ専門店などコラボし、またいちごドリンク専門店のキッチンカーも出動し、PRを行った。2/18～3/19日は、サクラマチクマモト1Fのどら焼きあんあん様とコラボし、販促を行った。連携先の宿泊施設の瑠璃温泉(村の三セク)は、コロナ禍の影響により、宿泊事業は撤退したが、今後も意欲的に活動していく。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:やばけい農泊古民家まちづくり協議会
(一般社団法人大分県北部古民家再生協会)

令和 5年 5月 29日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
大分県 中津市	令和2年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業 (3)施設整備事業	本事業では、特に本耶馬溪や耶馬溪、山国と言った郊外部において不足する宿泊施設や滞在・体験型プログラムの造成を図り、交流人口・滞在時間増を目指すために、既存の農泊施設と新たに整備する拠点とが連携した農泊体験事業を構築する。また地域のさまざまな体験プログラムを造成することで、小商いの増加を図り、地域経済への貢献を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

現状の地域資源を活用した滞在型プログラム、特に紅葉以外のオフシーズンのプログラム造成、年間を通じて観光客が来るような体制の構築などは評価できる。一方で、地域の売上高の目標達成状況が低調となっているため、今後、コロナ後を見据えて、地域の売上高の増加等に向けて、地道に活動に取り組んでいく必要がある。
令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。
今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

令和4年度は、コロナの影響もあり、観光で訪れる方も少なく地域の活性化が出来ないままでした。4年度後半から宿泊客も徐々に増える傾向になりましたので既存農泊のオーナー連携して令和5年度からは、農泊施設がオープンするのに伴い、1. 豆腐作り体験、2. お餅つき体験、ふるさと料理体験、着物着付け体験を予定して、宿泊される方に体験プログラムとして案内をして行く事にしました。協議会も月に1回開催しながら、進捗状況を確認する事になっています。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:ムラたび鹿児島

令和 5年 4月 1日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
鹿児島県 鹿児島市	令和2年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	「世界視点で地域の価値を変える」ことをミッションとして掲げる「ムラたび鹿児島」が展開するインバウンド観光事業は、田舎特化型ツアーで、海外チャンネルを通じての販売にポイントを置く。ターゲットは、アジア・欧米豪の富裕層を想定している。旅慣れたアジア・西洋人を対象に、食を中心とした体験を通じて、本物の鹿児島、歴史、伝統、文化、食、そして鹿児島の暮らしぶりなどを分かりやすく伝えていくことに重きを置き、地域に根差す人たちとの触れ合いも付加価値として提供していく。 合わせて、食をテーマに、通過点にしかならなかった地域が目的地となり、外貨を獲得する機会を整備し、地域の特徴を出していくメニューを開発する。 外国人も安心・安全・快適にグリーン・ツーリズムを楽しめるように、受入体制の整備、先進地視察やパンフレットの作製、海外セールスプロモーション・マーケティング等、ネットワーク構築に取り組むことを目的とする。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

モニターツアーにおいての農家民宿や体験プログラム等の評価や感想等を入手し、今後の参考としていること、体験プログラムについて目標値をクリアできたことは評価できる。一方で、地域の売上高や宿泊者数については、低調となっており、今後は、コロナ後を見据えて、持続的に農泊ビジネスに取り組む体制の強化が必要である。
令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向け、実施体制の強化を図りながら、活動を着実に実施されたい。
今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高等の増加に向けた、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

実施体制の強化を図るため組織名を「鹿児島市グリーンツーリズム協会」とし、下柿元美千代会長以下役員体制を一心し会員増強に努め幅広い分野で活動していく。教育との連携で授業のカリキュラムとして鹿児島大学の学生を毎年80名受け入れる。インバウンドや修学旅行の問合せも増えており、先の視察研修等で得た知識を活かし、この度体験料金の見直しも行い収入増を目指し、地域活性化に向けてとります。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:八女市星野村古民家くらし研究会
～星降る星野村プロジェクト～(薫風株式会社)

令和 5年 6月 1日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
福岡県 星野村	令和3年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	星野村の農業や自然をモチーフとした体験プログラムを開発し更なる来訪者を獲得する。また、古民家を農泊施設として利用しワーケーション等への対応も目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、ワークショップの開催やオンライン会議、視察研修の実施、商品・メニューの開発など規模を縮小しながら工夫して取組が実施できている。
・一方で、売上高など目標の達成状況が低調となっているため、コロナ後を見据えて、農泊推進体制を強化し可能な範囲で、売上及び宿泊者数の増加に向けた活動に地道に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施された。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

宿泊施設の供用開始が当初令和4年となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により宿泊施設の改修自体が実行できておらず、宿泊者の受け入れもできなかった。現在、令和5年度の施設整備事業として提案書を提出しており、令和7年からの共用開始を予定しているため、引き続き事業実施体制の強化等を図り、現在ある施設でのテイクアウトによる食事の提供やワークショップ・体験プログラムなどの充実を確実なものにしリピーターをつくることで、宿泊施設の集客力へ繋がるように活動を継続していく。
具体的には令和5年6月に、HISの農泊促進プロジェクトチームの方が啓蒙の為ヒアリングに来られるので、今あるコンテンツのマーケティングアドバイスとインフラ関連の改善点を一緒に考え、さらなる活動の推進を図る予定である。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:ましきぐらし農泊推進協議会

令和 5年 5月 24 日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
熊本県 益城町	令和3年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	<ul style="list-style-type: none">・地域合意形成の促進と連携体制構築に向けたプログラムの実施・農泊事業を推進するための地域戦略と今後の建物(古民家)活用に向けた計画の策定・益城町の滞在や誘客に繋げるためのメディア制作・地域を担う若手人材獲得に向けた広報

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

古民家改修について、宿泊施設の確保が遅れている等の理由により、目標の達成状況、活動状況が低調となっている。今後、早急に宿泊、食事、体験を常時行える施設を確保し、また、協議会が自主自立できるビジネス体制の確立が必要である。
令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、地域の売上及び宿泊者数の増加に向けた各種活動を着実に実施されたい。今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

地域合意形成の促進と連携体制構築に向けたプログラムの実施。農泊事業を推進するための地域戦略と今後の建物(古民家)活用に向けた計画の策定。益城町の滞在や誘客に繋げるためのメディア制作。地域を担う若手人材獲得に向けた広報。

4. 改善状況

現状、宿泊施設となりうる建物はありますが、その改修費用等の確保が困難な状況です。(見込み60百万)。ハード事業での補助金申請など、資金調達方法を検討しております。
令和4年度事業では、管理古民家の今後の展望を共有し、ともに事業を推進する仲間を増やすためのコミュニケーションの場として、料理教室を開催しました。今後古民家にある広い敷地(庭)を活かした映画上映会の開催やマルシェなどを実施することで、宿泊施設開業時の体験や食事の内容を検討していく予定です。
今後ハード整備完了後に必要な地域との連携や従業員獲得に向け、益城町及び近隣住民との関係構築は継続的に行い、ハード面においては、今一度改修費用を見直し、早期に改修工事に入れるように尽力していきます。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:高岡フードビレッジ協議会
(一般社団法人古民家再生協会宮崎南)

令和 5年 6月 14日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
宮崎県 宮崎市	令和3年度	(1)農泊推進事業 (2)人材活用事業	高岡町の食・農の魅力で来訪者の心を癒し、生活に潤いを提供する農村地域を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・当初予定していた廃校を活用した活動が困難になるという状況が生じ、代替の施設を活用することにより活動を継続している。
・今後、具体的な事業を進める中で、より一層、協議会メンバーを中心に、行政や近隣住民とも連携する等により体制を強化し、目標の達成に向け、持続的な活動に取り組んでいく必要がある。
・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化等を図り、売上及び宿泊者数の確保に向けた各種活動を着実に実施された。
・今後、改善に当たって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

より魅力的な体験メニューの開発や近隣住民との関係強化を図る為、活動を通して協議会主メンバーや協力メンバーへの勧誘を積極的に行っている。近隣にも農家の高齢化や増加する空き家、また生活スタイルの変化などにより地域コミュニティが崩壊しつつあるなど中山間地域における課題を持つ住民とも解決のため話せる機会を増やしている。危機感を持つ住民も多いがそれぞれ個人や少人数で動いているため、今後は協議会として共にチームで動き、個々では解決につながりにくい課題の対策を考えていこうと横のつながりを強化している。教育機関へも引き続きアプローチを続けてる。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:北きりしま田舎物語推進協議会

令和 5年 6月 ○日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
宮崎県 小林市	令和2年度	農泊地域高度化促進事業	コミュニケーション問題の改善、Wi-Fi環境の整備の整備等を行い、日本語のできない外国人へのストレスフリーな環境づくりを行う。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

多言語に対応したパンフレットの作成や、オンライン商談会やオンラインツアーへ参加するなど工夫して取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標の達成状況が低調となっている。引き続きアフターコロナを見据え持続的な活動を実施していく必要がある。令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高や宿泊者数等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高及び宿泊者数等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

令和4年度は、令和5年1月ごろからwithコロナの流れが出てきたため、数軒の民家がインバウンド受入れの意向を示し始めました。予約サイトでは同時期にインバウンド問合せも入るようになり、インバウンド受入れ意向のある民家とのマッチングにより、受入れが再開されました。その際は、整備を行ったポケットークを使用し、旅行者とのコミュニケーションを円滑に行えるようになっています。令和4年度は、3組5人泊の実績となりました。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:種子島・伊関農泊推進協議会

令和 5年 5月 31日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
鹿児島県 西之表市	令和2年度	農泊地域高度化促進事業	これまでに、都市と農村との交流促進を目的に、国内旅行業取扱管理者の養成を行いつつ、農村の暮らしや自然環境の集落風景を基本に地域資源の魅力を発掘し、「サトウキビ刈り・黒糖づくり」と「ヘゴ自生群落」を中心とした体験メニューを開発し、情報発信ツールとしてパンフレット類をデザインし、動画を含むホームページの開設などによって情報発信を大幅に充実させました。また、地元住民を対象にした研修会などを開催し食文化を充実させる取り組みや景観と農業の充実に努めました。この事業では多言語情報発信や受け入れ態勢の強化によって、インバウンド体制強化を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

体験メニューの開発や多言語対応の看板の設置などを実施している。島内において、外国人旅行者の受入ができなかったことにより、取組状況も予定の半分ほどとなっている。このことから、売上高や宿泊者数といった実績も低調となっているため。今後、コロナ後を見据えた活動により、売上高や宿泊者数の増加に向けた活動に取り組んでいく必要がある。

令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、地域の売上高等の増加に向けた活動を着実に実施されたい。

今後、改善にあたって課題等が生じた場合は、速やかに農政局に相談すること。

2. 低調と評価された要因

・売上高等の目標の達成状況が低調となっているため。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化等を図り、地域の売上高等の増加に向けて、実施体制を強化し、持続的な活動を着実に実施。

4. 改善状況

コロナ感染症の終息に伴い、種子島でも旅行者が増えてきている。JTB姫路を介して、今年5月には中学生160人を受入れ、事前調整から種子島の北部観光を重点的に案内する実績ができた。また修学旅行生を受け入れるグリーンツーリズム協議会が再開されて、当協議会でも受入れる予定である。しかし、馬毛島基地建設に伴い、宿泊施設がひっ迫しており、今しばらく大幅な改善を見込むことは難しい状況にある。

農山漁村振興交付金(農福連携対策) 重点指導結果

事業実施主体名:フィールドアップITN.株式会社

R5年6月29日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(※)	取組概要(※)
福岡県 福岡市	令和3年度	農山漁村振興交付金(農福連携対策) 農福連携支援事業及び農福連携整備事業(高度営農型)	キノコ栽培施設を整備し、栽培加工技術の習得。また、食品粉碎機を導入し6次化に取り組み農福連携を推進する。

※ 事業名や主たる取組名を記載すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

・キノコ栽培専用ハウスを整備し、栽培技術の習得、加工技術の習得、マニュアルの作成の取組は、コロナウイルス感染拡大の影響もあり当初の計画通りに実施できなかったものの、キノコ栽培も開始され概ね計画を達成されたことは評価できる。

・一方で目標とされる障害者の就労受け入れが開始できなかったこと、運営責任者の退職により事業の運営に影響が出たことなど、今後は事業実施体制の強化を図り、障害者の早期就労に取り組む必要がある。

・令和4年度は、評価委員会の評価コメントを踏まえ、事業実施体制の強化を図るとともに、障害者の早期就労に取り組み、目標達成に向けて各種活動を確実に実施されたい。

2. 低調と評価された要因

・事業の運営責任者の退職による事業運営の継承不備が生じ、事業の要である障害者の就労受け入れが開始できなかったことは大きな課題である。

3. 目標達成に向けた方策

・事業実施体制の強化を図るとともに、障害者の早期就労に取り組み、目標達成に向けて各種活動を確実に実施する。

4. 改善状況

・施設運営にあたり、前年度急遽退職した担当者から引継いだ運営責任者以外のスタッフ募集をハローワーク、コレワーク、求人サイト、ハローワーク主催の会社説明会に参加し、雇用促進に努めているが、スタッフ雇用に至っていない状況。

・人員不足という課題は継続しており、今後の計画の取組の大きな懸念材料であることから、人員確保を早急に行っていく。

・一方で、昨年度指摘を受けていた「障がい者の就労」については、就労支援施設へのPRの取組やマスコミに取り上げられたこと等から、R4年度の障がい者等の就労目標10名に対し、8名という実績となっている。2023年5月現在11名の就労者となっている。

・売り上げについては、キノコ栽培施設の菌床数が当初計画の半分以下となり、収穫量の確保が難しく、加えて市場価格が変化が大きく、安定した売り上げ確保が出来なかったことなどから、目標の17,100,000円に対し、2,271,000円(13%)に止まっている。しかしながら、菌床数を、毎月約1000ペースで増やして。今後の売上の方も増加する見込みである。栽培品種がしいたけ菌床のみとなっているため、きくらげなどの多品種の栽培も、施設環境にもよるが、増やせるように試験的に行っている。

・令和5年度は、事業の目標年度である3年目になることから、雇用・就労、売上げ等の目標を達成できるように、連携団体である就労継続支援事業所等と一層の連携強化を図り取り組んでいく。